



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年6月11日朝刊西部版

「報刻の大太鼓」を打つ園児 掛川市の掛川城御殿



時の記念日(6月10日) 城御殿で「報刻の大太鼓」に合わせて、掛川観光協会の打ち鳴らし式を開いた。1957年から続く掛川支部は10日、掛川

恒例行事。地元の園児ら約100人が正午に合わせて太鼓を打ち、大きな音を響かせた。
忍者・武将姿の観光ボランティア「掛川城戦国おもてなし隊」が出迎えた。ばちを手にした園児は、腕を大きく振りかぶって太鼓を打った。同支部の平野正俊会長は「時間を考えることは、どういふ人生を送るかを考えることにつながる。節目の機会としてほしい」と呼び掛けた。
報刻の大太鼓は1855年、掛川藩主の太田資功氏が城下に時刻を告げる目的で製作したとされる。太鼓による時報の慣習は明治中期まで続いた。太鼓は直径90センチ、長さ100センチ、胴回り333センチ。

「報刻の大太鼓」響く 時の記念日に掛川城で式典

- ①記事の大太鼓は何時に打ち鳴らしましたか。()
- ②この大太鼓の大きさはどれくらいありますか。()
- ③この大太鼓の打ち鳴らし式は何に合わせて行われましたか。()
- ④この太鼓を打ち鳴らすことで、どのような意識が生まれると思いますか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、特別活動、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年6月11日朝刊西部版

「報刻の大太鼓」を打つ園児 掛川市の掛川城御殿

時の記念日(6月10日) 城御殿で「報刻の大太鼓」に合わせて、掛川観光協会の打ち鳴らし式を開いた。1957年から続く掛川支部は10日、掛川

恒例行事。地元の園児ら約100人が正午に合わせて太鼓を打ち、大きな音を響かせた。
忍者・武将姿の観光ボランティア「掛川城戦国おもてなし隊」が出迎えた。ばちを手にした園児は、腕を大きく振りかぶって太鼓を打った。同支部の平野正俊会長は「時間を考えることは、どういふ人生を送るかを考えることにつながる。節目の機会としてほしい」と呼び掛けた。
報刻の大太鼓は1855年、掛川藩主の太田資功氏が城下に時刻を告げる目的で製作したとされる。太鼓による時報の慣習は明治中期まで続いた。太鼓は直径90センチ、長さ100センチ、胴回り333センチ。

「報刻の大太鼓」響く 時の記念日に掛川城で式典

- ①記事の大太鼓は何時に打ち鳴らしましたか。(**正午**)
- ②この大太鼓の大きさはどれくらいありますか。(**直径90センチ、長さ100センチ、胴回り333センチ**)
- ③この大太鼓の打ち鳴らし式は何に合わせて行われましたか。
(**(6月10日の)時の記念日**)
- ④この太鼓を打ち鳴らすことで、どのような意識が生まれると思いますか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

時間を考えることで、どういう人生を送るかを考える。(25字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、特別活動、総合)